

# What's on, Kyodokodo

2010.5.7  
No.22



- 成功事例・参考事例を募集しています→<http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→[advice@ppscamp.net](mailto:advice@ppscamp.net)
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします  
→<http://kyodokodo.jp/hsmr.html> お問い合わせは [toHSMR@ppscamp.net](mailto:toHSMR@ppscamp.net)
- 参加登録病院用のバナーができました! → [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A→<http://kyodokodo.jp/faq.html>  
参加登録事項変更等に関するQ&A→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)

## CONTENTS

### 共同行動からのお知らせ

- 医療安全全国共同行動 2周年記念フォーラム

### フォーラム・セミナー等のご案内

#### ひとことアドバイス

- 周術期肺塞栓症の防止(目標2)

#### 病院の活動紹介

- 飯塚病院の活動(失神CPの紹介)

### フォーラム・セミナー等のご報告

- 鹿児島フォーラムが開催されました

### フォーラム・セミナー等のスケジュール

- 5月9日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズ  
アプローチ入門①
- 5月15日(土) ▶ 医療安全2周年記念フォーラム

- 5月15日(土) ▶ 経鼻栄養チューブの挿入実技講習会
- 5月22日(土) ▶ 宮城フォーラム
- 5月22日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター埼玉講習会
- 6月6日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズ  
アプローチ入門②
- 6月18日(金) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター宮崎講習会
- 7月10日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター富山講習会
- 7月11日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズ  
アプローチ入門③
- 8月1日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズ  
アプローチ入門④
- 9月11日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター姫路講習会
- 9月26日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズ  
アプローチ入門⑤
- 10月16日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター旭川講習会
- 10月30日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター東京講習会

## 共同行動からのお知らせ

### 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ” 2周年記念フォーラム <http://partners.kyodokodo.jp/2010may15/>

全国の病院と医療従事者、病院団体、各種医療団体が力を結集して取り組むことで、8つの目標を実現し、医療に伴う有害事象を大幅に低減し、患者さんと医療者がともに安心して治療に専念できる医療環境づくりをめざします。

- シンポジウムとワークショップA(中小規模病院の医療安全対策)はインターネットで視聴できます。
- フォーラム専用サイトからフォーラムの案内ポスターとチラシをダウンロードできます。院内やご関係の方々にご案内いただきますようお願いいたします。

日時: 5月15日(土) 13:00~17:45

会場: ベルサール九段 イベントホール(東京都千代田区)

[http://www.bellesalle.co.jp/bs\\_kudan/event/](http://www.bellesalle.co.jp/bs_kudan/event/)

**主催** 医療安全全国共同行動推進会議

医療の質・安全学会、日本病院団体協議会、日本医師会、日本歯科医師会、日本看護協会日本臨床工  
学技士会、日本病院薬剤師会

**後援** 全国知事会

**参加費** 2000円（資料別）\*当日会場にて受け付け(事前申し込みは必要ありません)

インターネットでの視聴やメールでの参加は無料です

●2周年記念フォーラム専用サイト URL <http://partners.kyodokodo.jp/2010may15/>

●フォーラムに関するお問合せ先 E-Mail [shienjimu@kyodokodo.jp](mailto:shienjimu@kyodokodo.jp)

●実技講習会に関するお問合せ先 E-Mail [Keibimay15@ppscamp.net](mailto:Keibimay15@ppscamp.net)

## [プログラム]

**シンポジウム 13:00～15:30** インターネットでLIVE中継

■開会の辞 高久史磨(医療安全全国共同行動推進会議議長/日本医学会会長)

■挨拶 原中勝征(日本医師会会長)

■地域フォーラムの報告(岩手県、沖縄県、東京都、鹿児島県)

■共同行動のこれまでとこれから 高久史磨(医療安全全国共同行動推進会議)

## ■講演



「医療事故情報収集等事業から学ぶもの」

野本亀久雄(財団法人日本医療機能評価機構 理事)



「ひとは誰でも間違える—医療安全の基本と原則」

河野龍太郎(自治医科大学医療安全学教授)

## ■沖縄と北海道からのレポート(テレビ電話で参加)

「沖縄県立中部病院の取り組み—ライセンス制度と実技研修の紹介」

上原元(沖縄県立中部病院副院長)

「夕張の取り組み—いのちのバトンと誤嚥性肺炎防止の紹介」

村上智彦(夕張希望の杜 夕張医療センター長)

## ■共同行動を応援します(ビデオ・メッセージ)

[応援メッセージ] 大竹しのぶ(女優)、アグネス・チャン(歌手)、川江美奈子(ミュージシャン)

[音楽で応援します] ジュスカグランパール(ミュージシャン)

## ■企画委員会からのお知らせ—参加登録の案内と成果報告のお願い

—休憩—

**ワークショップ(分科会/行動目標1-8共通) 15:45～17:45**

**A. 中小規模病院の医療安全対策** インターネットでLIVE中継

「中小規模病院の医療安全対策」嶋森好子(東京都看護協会会長)

「改善活動による医療機器安全管理の取り組み」安永彰子(岩国市医療センター医師会病院)ほか

\*メールで参加できます。ご質問やご意見をお寄せください。 [tonetforum@ppscamp.net](mailto:tonetforum@ppscamp.net)

## B. 有害事象(事故・合併症)が発生した時の緊急処置

—その時あなたは患者さんを守れますか？

アナフィラキシーショック、空気塞栓、静脈穿刺時の失神／神経損傷、急逝肺塞栓 ほか

## C. 患者さんは医療安全のパートナー —患者さんにできる安全対策

誤投薬の防止、肺塞栓の予防、転倒・転落防止、危険手技の安全な実施など、患者さんの協力を期待すること、またその方法について患者さんと一緒に考えます。

### 実技講習会 “経鼻栄養チューブの挿入留置手技”

10:00～12:00 ベルサール九段3階会議室(受講費2000円／申し込み先着順)

挿入と位置確認について、講義と実技演習を行います

講師 寺見雅子(摂食・嚥下障害看護認定看護師)ほか

\*プログラム [http://kyodokodo.jp/doc/event/100515\\_2.pdf](http://kyodokodo.jp/doc/event/100515_2.pdf)

\*お申し込みはこちらから <http://reg2010may.ppsqsh.net/>

### 2周年記念フォーラムのお申し込み方法

■5月15日(土)正午から、会場にて参加申し込みを受け付けます。

\* 事前の申し込みは不要です。当日申し込みのみとなります。

なお、実技講習会(10:00～12:00)は事前申し込みが必要です。

■<フォーラム参加申込票>を受け付けにご提示いただき、フォーラム参加費(2000円)をお支払いください。<フォーラム参加申込票>は会場にもご用意いたしますが、混雑を避けるため、同用紙に予めご記入の上、当日ご持参ください。フォーラム専用サイトからダウンロードできます。

■2周年記念フォーラム専用サイトのURL <http://partners.kyodokodo.jp/2010may15/>

### インターネットで視聴される方へ

■シンポジウムと分科会Aの様子をUSTREAMとニコニコチャンネルでライブ配信する予定です。

◇USTREAMでライブ配信を視聴される方はフォーラム当日に次のURLへアクセスしてください。 <http://www.ustream.tv/channel/kyodokodo>

◇ニコニコチャンネルで視聴される方はフォーラム当日に次のURLへアクセスしてください。 <http://ch.nicovideo.jp/channel/ch500>

■ワークショップA「中小規模病院の医療安全対策」に、メールでLIVE参加いただけます。

[tonetforum@ppscamp.net](mailto:tonetforum@ppscamp.net) 宛に質問やご意見、ご助言、ご提案をお寄せください。

◇いただいたメールを会場のスクリーンに転写して参加者に紹介します。質問については、会場参加者・ネット参加者や発表講師、支援チームから助言をいただきます。なお、投稿の状況や進行の都合によりご紹介できない場合がありますこと予めご容赦ください。

◇フォーラムの当日だけでなく、事前にも受け付けていますので、ぜひご投稿ください。

■2周年記念フォーラム専用ページ <http://partners.kyodokodo.jp/2010may15/> に番組表を掲載いたします(随時更新されます)。

(注) \*ライブ配信では、パワーポイント等の講演資料が見えにくい場合、可能なものについては資料を予めホームページに掲載することで、併せてご覧いただけるようにいたします。ぜひ、ご利用ください。

\*ライブ配信は、インターネットの利用状況等により画像や音声の中断や乱れが生じることがあります。また、配信できる画像の解像度はあまり高くありません。予めご了承ください。

## フォーラム・セミナー等のご案内

### 地域フォーラム

#### 医療安全全国共同行動 宮城フォーラム

日程: 5月22日(土) 10:00~16:00

会場: 仙台市医師会館 \*詳細は追ってお知らせいたします。

### 8目標に関連するセミナー、シンポジウム、講習会

#### 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門(目標7に関連)

定員に達したため、募集を締め切りました

日程: 5/9日(日)、6/6日(日)、7/11(日)、8/1(日)、9/26(日) 全5回

会場: 自治医科大学付属病院 地域医療情報研修センター

\*詳細は [http://kyodokodo.jp/event\\_list.html](http://kyodokodo.jp/event_list.html)

#### 実技講習会“経鼻栄養チューブの挿入留置手技”

～安全な経鼻栄養チューブの挿入を目指して 一人・物・技術(目標3aに関連)

日時: 5月15日(土) 10:00~12:00

会場: ベルサール九段 3階会議室

\*詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/100515.pdf>

#### 弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈埼玉地区〉

日時: 5月22日(土) 13:00~16:30

会場: 大宮ソニックシティ・パレスホテル大宮

〈宮崎地区〉

日時: 6月18日(金) 13:30~17:00

会場: フェニックス・シーガイア・リゾート内、ワールドコンベンションセンターサミット

〈富山地区〉

日時: 7月10日(土) 13:00~16:00(予定)

会場: 上市町文化研修センター(予定)

〈姫路地区〉

日時: 9月11日(土) 13:00~17:00

会場: 姫路商工会議所

〈旭川地区〉

日時: 10月16日(土) 午前中

会場: 旭川文化会館(予定)

〈東京地区〉

日時: 10月30日(土) 13:00~17:00

会場: 杏林大学 大学院講堂

主催 日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

\*各講習会の詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

## ひとことアドバイス

周術期肺塞栓症の防止(目標2)

### 周術期肺塞栓症の予防 ～ガイドラインの改訂へ～



三重大学大学院医学系研究科循環器・腎臓内科学 中村 真潮

日本における周術期肺塞栓症の予防は、2004年に10の学術団体が協力して策定した「肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症予防ガイドライン」の公開から徐々に普及してきました。ガイドラインが策定される頃までは日本におけるエビデンスがほとんどなく、初版のガイドラインは欧米のものを日本でも使用できる形に改変したものでした。しかし、肺血栓塞栓症予防管理料の保険収載とも重なり、周術期肺塞栓症の予防は日常臨床に確実に根付きつつあります。そして、ガイドライン公開から6年が経ち、日本人に関する情報もかなり蓄積してきました。また一部の領域では低分子量ヘパリンやXa阻害薬など新しい抗凝固薬も使用可能となり、まさにガイドラインを改訂すべき時期となりました。すでに多くの学術集団が参加したガイドライン改訂作業が始まっています。

新しいガイドラインではこれまでのガイドラインを基本としつつも日本人でのエビデンスをより多く取り入れ、日本の臨床現場にさらに適したものを目指して改訂されます。また、普及が遅れている薬物予防が適切に運用されるようにすることも大きな課題です。そして、すべての医療従事者にとって理解しやすいガイドラインの策定が試みられるでしょう。しかし、ガイドラインの改訂が行われても、実際の臨床現場における対応は今までと変わるものではありません。ガイドラインを理想的な一つの手本としながら、それぞれの施設の実情に合わせたマニュアルを作成し、実際に運用するなかでより理想に近いものにしていけばよいと思います。日本における周術期の肺塞栓症予防はまだまだ発展途上段階です。大小さまざまな施設の取り組みや成果をもちより、みんなの力で日本に適した予防指針を作り上げていくものだと考えています。

## 病院の活動紹介

飯塚病院の活動紹介

### 失神CP適応基準シート、失神CP、失神入院治療計画書の紹介

飯塚病院総合診療科 吉野 俊平

クリニカルパス(以下、CPとする)とは、ある疾患を持つ患者に対して、縦軸をケア介入、横軸を時間軸としてまとめた治療計画表である。CPIには医療コスト削減、標準化の推進、医療事故低減などさまざまな質向上への効果があるとされている。

現在各病院によってさまざまなCPが作成されているが、その多くは外科系疾患に対するものである。それはCPが治療計画の標準化という性格を持つため、治療計画が明確である外科系疾患に対して導入、作成されることが多いからである。一方内科系疾患では各患者によって症状の度合いやばらつきが大きく、治療計画を標準化することが困難であることが多い。さらには診断がついていない症候については診療の標準化はより困難であると考えられる。

失神とは「身体の緊張の喪失を伴う突然かつ短い意識の喪失」と定義される。特徴として、日常よく遭遇する症候である、ときに突然死の危険性を有する、その原因確定が困難なことが少なくない、などがある。失神の診療においてはそうした特徴からさまざまな検査がなされ、なかには無駄なものも多く、危険な疾患が見逃されたりする可能性がある。CPを作成することで診療の標準化や質の保証された医療の実現を試みた。



まずは失神と考えられ入院を要した症例を後ろ向きに検討し、どのような診療がされているのかを整理した。期間は平成14年4月1日～9月30日。対象は意識消失を主訴に救急外来を受診し以下の条件を満たし失神の精査加療目的で入院となった55症例を対象に、カルテレビューを行った。条件とは、一過性の意識消失が確認されている、救急外来受診時意識の回復を認めている、意識消失していた状況が不明確、とした。検査内容、入院期間、原因について解析を行い、失神CP適応基準シートと失神CP、失神入院治療計画書(患者用説明書)を作成した。

失神CP適応基準シートは失神の外来での初期評価において必ず行うべき項目をチェックシート形式にして明記した。項目は意識消失前の状況、意識消失時の自覚症状、意識消失時の状態、以前に同様の症状があったか、日常生活、既往歴、薬剤歴、家族歴、心原性を示唆する心電図について各々示した。また適応基準および除外基準を明記した。失神の可能性が高い患者の診療には失神CP適応基準シートを使用するよう促し、基準を満たすものについては失神CPおよび失神入院治療計画書を使用するよう促した。失神CPは入院期間、行うべき検査、医師の確認項目を明記した。文章の作成には当時の最も知られている2つの失神のガイドラインを参考にした。

現在、失神CP適応基準シート、失神CP、失神入院治療計画書は救急外来に常備し、初療医が常時使用可能な状態となっており、いままで多くの症例において適応・使用されている。経験の浅い初療医でも何をすべきかわかるようなマニュアルの役割も果たしている。

## フォーラム・セミナー等のご報告

### 鹿児島フォーラムが開催されました

## わかりやすい内容で好評、共同行動への期待が高まる

鹿児島フォーラム実行委員長 鹿児島大学病院長 高松 英夫  
同実行委員 鹿児島大学病院 セネラルリスクマネジャー 田畑 千穂子

平成22年4月24日(土)、鹿児島大学の高松英夫病院長を実行委員長として鹿児島大学病院鶴陵会館で“医療安全全国共同行動鹿児島フォーラム”を開催いたしました。開催に向け、鹿児島県で医療安全全国共同行動に参加登録の8施設の賛同と連携で、鹿児島フォーラムの中核となる実行委員会を立ち上げました。さらに、鹿児島県をはじめ県内の13の医療関連団体と3つの医療機器メーカーの共催を得ました。

参加者は80施設の342名で、医師・薬剤師・看護師・放射線技師・臨床工学技士・歯科衛生士など幅広い職種と、川薩・南薩地区、始良・大隅地区、大島など離島や宮崎県など南九州全域からの参加となりました。

フォーラムは、佐賀大学総合診療部部長の小泉俊三先生による基調講演に始まり、医療安全全国共同行動が提唱する8つの行動目標のうち、4つの行動目標について推奨する対策の説明と取り組み事例の報告がありました。

まず、『危険薬の誤投与防止』は、鹿児島大学の下堂菌権洋先生による4つの推奨対策について講演があり、事例として、鹿児島生協病院の堀之内ルミ先生の救急カート薬品の整理に関する報告がありました。続いて、『医療機器の安全な操作と管理』は、武蔵野赤十字病院の杉山良子先生が輸液ポンプ・シリンジポンプ事故の発生要因や教育・実技指導の重要性を講演されました。事例は、鹿児島医療センターの東幸代先生による医療機器の安全操作教育、指導評価表や持続点滴のチェック表などへの取り組みが報告されました。



『人工呼吸器の安全な操作と管理』は、鹿児島大学の垣花泰之先生が生体モニターを装着することやパルスオキシメーターも有用であることを講演されました。事例は、南九州病院の前田初子先生から人工呼吸器の保守点検の確実な実施、動作確認、生体情報モニターを必ず装着するシステムづくりの報告がありました。『患者・市民の医療参加』では、東邦大学医学メディアセンター次長の山口直比古先生が患者図書室のつくりかたについて講演されました。事例は、阿久根市民病院の木山淳子先生から患者誤認対策として「安全は名前から」の活動が報告されました。



特別講演の『静脈血栓塞栓症防止』は、講師に近畿大学医学部附属病院安全管理部医療安全対策室副室長の保田知生先生を迎えました。具体的な深部静脈血栓の解説はとてもわかりやすく、多くの参加者に「驚き」を持って受け止められ、静か過ぎるほどの会場となっていました。

終了後のアンケートでは、「医療職1年目で参加させていただきましたが、とてもわかりやすく、患者様及び医療者自身に対しても安全への取り組みの大切さがわかりました。これからフォーラムに参加される方がさらに多くなり活動がより広まっていけばと思います」という感想がありました。また、同時に開催した患者図書室のパネル展(日本看護協会の支援による)に対してもよい評価をいただきました。そして、今後も地域フォーラムを望む意見や2周年を迎える医療安全全国共同行動の組織的な活動への期待と継続への要望が多く寄せられていました。

### 共同行動キャンペーンポスターをご利用ください

(HPからダウンロードできます)

- 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”(日本版100K)
- 行動目標別キャンペーンポスター完成見本(目標1～目標8)
  - 公開ページ…[トップページ](#)
  - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)
- 行動目標別キャンペーンポスター基本デザイン(目標1～目標8)
  - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)

★ウェブマガジンWhat's on, Kyodokodoは5月より第1・第3金曜日に配信します  
院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”  
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室  
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>